

好きやねん湖東

第7号



恩師を囲んで



二十歳の集い実行委員



二十歳の宣誓をする 小西 あゆみさん



湖東地区「二十歳の集い」は、実行委員が中心となり、ボランティアのお母さん、まちづくり協議会も協力しました。

この人に聞く

「まち協って何？」

湖東地区まちづくり協議会 谷川さんにインタビュー



今回は、広報部のニューフェイス岡島と大橋が、『まち協って何なのか』湖東地区まちづくり協議会 谷川運営委員長にお話をうかがいました。

※『まち協』って？

東近江市になる前は、まちづくりに取り組む各種団体の連絡・調整を「役場」が担っていました。ところが、合併により市（支所）では、その役割を果たすことが難しくなり、それぞれの地区のまちづくりを考えていくための団体が各地域に必要になってきました。湖東地区では、7月14日に一早く設立しました。

これが『まちづくり協議会』（まち協）なのです。

※『まち協』は何をしているのですか？

特にこれとは決まっています。誕生したばかりでこれからです。市が合併で大きくなり、地域の皆さんの声が行政へ届きにくくならないように様々な地域活動に参加し、地域と密着した皆さんの声を聞く。そして、皆さんの生の声を行政へ運んで、協働のまちづくりに生かしていきたいと考えています。

昨年は、コトナリエやふるさと祭りをはじめ色々な行事を企画、実行してきました。今後、市の援助がなくなっても続けていけるように、各種団体さんにも、まち協を知ってもらい、共に活動していきたいと思います。

※『まち協』って誰でも参加できるのですか？

湖東地区を愛している人なら誰でもOK☆ 湖東地域の一人ひとりがまち協のメンバーなのです。女性会、老人クラブ、子供会、消防・・・と各種団体さんにも、まち協に参加してもらえればと考えています。

協議会にゆーす

まちづくりリーダー講座受講中

去る、11月24日（木）から開講された「まちづくりリーダー養成講座」に運営委員4人が受講しています。

第1回は、講師に滋賀文化短期大学 助教授 谷口先生を迎えて、地域力結集のための講義とアイスブレイキング（自己紹介を兼ねたゲームを通じて参加者相互の交流を図る）を学び、第2回の12月3日（土）は、「知っているようで知らない自分のまちを知る」ために、東近江市今崎町のまち歩き（フィールドワーク）をおこない、地域の再確認（再発見）をする作業をおこないました。

なお、本講座は、全5回で1月21日（土）まで開催されます。

道のりは長いですが、この受講を機に、地域にあった独自のまちづくりを進めていければと考えています。

（田中）



皆さんからの投稿

湖東短歌クラブ

真向いに三上山見る高速道
むかでの傳説まことしやかに

加藤 正代

欧州へ十月の旅を終へし孫娘の
空港よりの電話待ちるむ

杉田 久男

さはやかな人参豆腐食みながら
かかる味もつ人になりたき

沙々木 千恵子



今月の注目！

老人生きがい教室 ～生け花～

12月26日(月)社会福祉協議会が開講されている、65歳以上の方を対象とした老人生きがい教室～生け花～におじゃましました。

小林蘭風先生(小田町在住)により、当日は、盛花・生花・三種等のお正月らしい生け花を教えてくださいました。

講師の小林先生は、ご自身も86歳というお歳ながらインタビューをしている私(37歳)までもが圧倒されるほど、お若くお元気で、「生け花(好きな事)をしていると体の調子が良く、忙しくても体調がいいんですよ」と教えてくださいました。



また、受講生の皆さんに、お聞きすると、「生け花教室に来るのが毎月楽しみです。」、「家でひとりであるより、教室で友達と話したりするのがとても楽しいです。」、「生け花をみていると気持ちがとても癒されるんです。」と、私まで元気になるような答えが返ってきました。

本当に素敵な小林先生や受講生の皆さんにお会いできて、私もこんな風に歳を重ねていけたらいいなと思いました。一度しかない人生を、楽しむも楽しまないも、自分の心の持ち方次第でこんなに変わるものなのですね。

1月21日(土)、22日(日)湖東図書館にて、小林先生と受講生の皆さんの「花展」が行われます。

ぜひ、ご覧になってください。

なお、老人生きがい教室は、生け花の他にも各種教室がありますので、詳しい事は社会福祉協議会(45-2666)まで、お問い合わせ下さい。(高野)

スポ根物語 柔道編！

柔道スポーツ少年団を指導されている伊藤さん、垣谷さん、稲葉さんにお話を聞いてきました。

・柔道を通して子どもたちに伝えたいことはありますか？

伊藤さん：強くなって欲しいとは思いますが、それより人間的にきちりした子、礼儀正しく優しい人間になって欲しいと思っています。

垣谷さん：あきらめない心、自分に強くなること。また、柔道を通して、「礼」をしっかり伝えていきたいです。

稲葉さん：前に出るために、自分自身に勝つことを。

・うれしいときは、どんなときですか？

垣谷さん：大きくなって、次の子どもたちに柔道を教えてくれる子どもたちになって欲しい。OBが練習に顔を出してくれると、とてもうれしいです。

稲葉さん：普段、勝てない子どもが急に伸びるときがあるのですが、そういうのを見たときうれしく思います。

・夢をお聞かせください。

伊藤さん：オリンピック選手を出したいというのがあります。子どもたちは、いつ伸びるのか分かりません。どんな成長を見せてくれるのかとても楽しみです。



垣谷康隆さん 伊藤勉さん 稲葉悟さん



取材した日は、雪の降る寒い日でしたが、子どもたちは裸足で大掃除をしていました。

みんなが一生懸命に掃除する姿を見て、いつの日か、日本を代表するような選手が出てくる日も、確かに近いかもしれないと感じました。(小島)

次回の取材は、スポ少剣道です。お楽しみに！



名人を紹介

藁細工の 「名人」を 訪ねて



僧坊町 小島友治さん (74歳)

可愛い干支の藁細工を作られる方がおいでになると聞き、今回の主役である小島友治さんをお訪ねしました。

小島さんの藁細工作りのきっかけは、僧坊町の公民館まつりに出品するために作り始めたとのこと。

春から秋までは農作業に精を出し、そんな中で、これはという藁を残しておいて、農閑期の冬に5、6作品作られるそうです。

今年の干支の犬は、絵本や新聞などで資料を集め、デザインしたのち、木型を作り、その上に縄を巻いて作られたそうです。お孫さんを喜ばそうと作られた作品は、とても優しさあふれるものばかりでした。(福田)

町で見~つけた

これは
何だと
思いますか?



なんと、豆腐で製作されたウェディングケーキなんです!

大きさは、縦40cm×横40cm×高さ15cmで、表面は、新郎新婦の思い出の地だという北海道の意匠を黒豆であしらってあります。

結婚式の当日は、当然、ウェディングケーキなので、新郎新婦がナイフで入豆され、ご出席の皆さんに召しあがっていただいたそうです。

みつけた場所： 垣谷 奨さんの所
写真提供： 西田 亮介さん



編集後記

2006年が始まりました。

今年の冬は、一段と厳しく、雪の多い地方では、皆さん大変苦労されているようです。

先日も、家の周りの雪かきをしていたところ、昨年来、大活躍していた雪かき君が、とうとうバキッと壊れてしまいました。まだまだ、これから必要な道具だというのに・・・余計な出費です (><)

しかし、そんなアクシデントにも負けず、今年も、皆さんに一番身近な広報誌として、様々な情報を伝えていきますので、よろしくお願いします。



湖東地区の

「まちづくり」に期待

中村市長から
新年メッセージ



東近江市長 中村功一

新年あけましておめでとうございます。

昨年は皆さまのご理解とご協力により東近江市が誕生しました。

合併後の新しい施策「まちづくり協議会」について、湖東地区ではいち早く設立していただきましたことに、深く感謝申し上げます。

地区住民の皆さんで創り上げられた「コトナリエ」には、十万人ものご来場があり、東近江市の新たな名物になりつつあります。また、「ふるさとまつり」や資源ごみ回収もまちづくり協議会の皆さんで新たにお取り組みいただきました。

湖東地区のまちづくりが、住民の皆さんのさらなるご協力で発展しますことをご期待申し上げます。



<編集・発行>

湖東地区まちづくり協議会

(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町 505 番地

東近江市 湖東支所 地域振興課内

TEL 45-3702 FAX 45-1570

E-mail : k-machikyo@koto-ken.jp

